



吉本 秀二 議員

少子化の課題は、子育て支援。幼稚園の3年養育必要...

問 嵐山町の普通地方交付税は県下の町村で3番目に少ない。国の嵐山町に対する評価の結果で、実際には財政が厳しいということだ。そんな中で大きな課題は、少子化対策だが、嵐山幼稚園の3年保育もなされない。出生率の向上に繋がる子育て支援が必要では。

答 町長 少子化対策では、子育て環境整備、職場環境整備、教育環境整備が必要。そのためには、企業誘致事業、子ども医療、養育支援、国策である。

嵐山町の財政状況の現状と課題は 答 硬直化が窺える／一般財源の抑制・確保が必要

教育環境整備をしっかりと行っていく。

地方創生事業の現状と評価及び課題

問 ラベンダーまつりの入場者及び収支結果は。

答 農政課長 見学者総数7万5646人（うち有料見学者6万7266人）。収入は、見学料3363万円、摘み取り体験680万円等合計4265万円。支出は、イベント料3642万円、その他諸経費806万円、合計4449万円。課題は、駅、駐車場から会場までのアクセスや維持経費の抑制がある。

問 ラベンダーが枯れて全滅に近い。原因調査はできているのか。

答 農政課長 大雨により夏草が繁茂したことが一番の原因と考えている。詳細は関係者等と現地調査を行っている。

問 今後、継続するのか撤退するのか。

答 町長 しっかりと続けていく。というのは、あの場所は循環経済を基本に進めている。かけたお金は外には流れない。今後は、面積、株数にこだわらず管理しやすさに重点をおき、稼ぐ力の拠点としてやっていく。



対策が待たれる千年の苑＝R元. 8. 21



渋谷登美子 議員

吉見町大串のゴミ焼却施設は、災害時、危険。組合解散で一安心！

問 吉見町ゴミ焼却施設建設の組合が解散の方向に向かっている。土地購入、建設、運営事業者の決定前で安堵している。施設建設について調査したが、地盤がもろいことがわかった。建設費は高額になる。候補地評価についての数値の根拠は。造成費用の見積りは。

答 環境課長 組合事務局からは地盤のもろさが明らかになったという報告はない。又、8か所の候補地評価詳細については訴訟に関する事なので答

吉見ゴミ焼却地は地盤もろい！

答 組合から、地盤のもろさの報告なし

弁を控えたいという。造成工費は8207万円の概算予定額である。

嘘多い！候補地評価書

問 地盤が悪く、液状化の危険があるため、地下20mくらいまでコンクリート杭を打つ必要がある。災害の視点で見ると、洪水時は2～5mの浸水の危険がある。大串は、形式的には候補地8か所から選定された経過だが、初めから吉見町大串に決定していた。候補地評価書を調査すると、吉見町ハザードマップでは液状化、洪水の危険地域である。しかし、嘘の内容が候補

地評価書に記載され、そこから適地と選択された。土木の知見のある職員にはわかるはずである。大串が選定されていく過程の会議録や資料は情報公開請求で非公開だ。広域で行う事業は、一自治体ではできない。公共土木の専門職はいたのか。

答 副町長 吉見町職員のことである。

問 吉見町大串が建設地として適しているかとされたが、候補地評価書は虚偽が多い。候補地評価書の作成者は。

地として適しているかとされたが、候補地評価書は虚偽が多い。候補地評価書の作成者は。



現埼玉中部環境保全組合焼却場

台風19号経過後、10月13日の午前6時15分
焼却場建設予定地付近の浸水で通行止め（地元より提供）